

**食道**
**オブジーボ**

催吐リスク: 1

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	240 mg/body	d1

**シスプラチン+フルオロウラシル+ペムプロリズマブ**

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース(6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1
シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1~5

**ドセタキセル**

催吐リスク: 2

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ドセタキセル	70 mg/m <sup>2</sup>	d1

**ドセタキセル+ネダプラチン**

催吐リスク: 3

適応疾患: 進行・再発食道がん

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アクプラ	40 mg/m <sup>2</sup>	d1
ドセタキセル	30 mg/m <sup>2</sup>	d1

**ニボルマブ(4週1コース)**

催吐リスク: 1

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	480 mg/body	d1

**パクリタキセル**

催吐リスク: 2

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 8週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
パクリタキセル	100 mg/m <sup>2</sup>	d1、8、15、22、29、36

## フルオロウラシル(250)＋シスプラチン(5)＋放射線治療

催吐リスク: 2

適応疾患: 進行食道がん

投与スケジュール: 6週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	5 mg/m <sup>2</sup>	d1～5、8～12、15～19、22～26、 29～33、36～40
フルオロウラシル	250 mg/m <sup>2</sup>	d1～5、8～12、15～19、22～26、 29～33、36～40

## フルオロウラシル(400)＋シスプラチン(40)＋放射線治療

催吐リスク: 3

適応疾患: 食道がん(切除不能)

投与スケジュール: 5週1コース (2コース施行)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	40 mg/m <sup>2</sup>	d1、8
フルオロウラシル	400 mg/m <sup>2</sup>	d1～5、8～12

## フルオロウラシル(700)＋シスプラチン(70)＋放射線治療

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 4週1コース (2コース施行)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	70 mg/m <sup>2</sup>	d1
フルオロウラシル	700 mg/m <sup>2</sup>	d1～4

## フルオロウラシル(800)＋シスプラチン(80)

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(CRT後・術後の補助療法 or 再発・転移)

投与スケジュール: 4週1コース 《CRT後・術後の補助療法＝2コース、再発・転移＝有効時は継続》

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1～5

## フルオロウラシル＋ドセタキセル＋シスプラチン

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(進行・再発、術前補助)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	70 mg/m <sup>2</sup>	d1
ドセタキセル	70 mg/m <sup>2</sup>	d1
フルオロウラシル	700 mg/m <sup>2</sup>	d1～5

## フルオロウラシル＋ネダプラチン

催吐リスク: 3

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 4週1コース (2コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アクプラ	90 mg/m <sup>2</sup>	d1
フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1～5

## フルオロウラシル+ネダプラチン+放射線治療

催吐リスク: 3

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 5週1コース (2コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アクブラ	90 mg/m <sup>2</sup>	d1
フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1~5

## フルオロウラシル+ペムブロリズマブ

催吐リスク: 2

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース(29コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1
フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1~5

## フルオロウラシル+分割ドセタキセル+シスプラチン

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
ドセタキセル	30 mg/m <sup>2</sup>	d1、15
フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1~5

## ペムブロリズマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: 進行・再発の食道癌(CPS $\geq$ 10%かつ扁平上皮癌)

投与スケジュール: 6週1コース(PDまで)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1
キイトルーダ	400 mg	d1

## ペムブロリズマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: 進行・再発の食道癌(CPS $\geq$ 10%かつ扁平上皮癌)

投与スケジュール: 3週1コース(PDまで)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1
キイトルーダ	400 mg	d1

### 推奨投与量の単位

mg/m<sup>2</sup>:【体表面積】あたりの量      mg/kg:【体重】あたりの量  
AUC:カルバートの式により算出 ⇒投与量(mg/body)=AUC目標値×(GFR+25)

### 略語の意味

NSCLC: 非小細胞肺癌  
SCLC: 小細胞肺癌  
PD: 病勢進行